

としょかん つか
図書館を使った

しら がくしゅう
調べる学習コンクール

しら がくしゅう
調べる学習の

すす かた
進め方

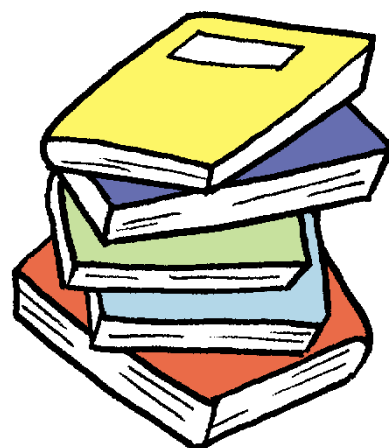


しら がくしゅう 調べる学習のステップ

① しら ほうほう かんが
調べる方法を考える

② しら きろく
調べて記録しよう

③ さくひん
作品にまとめよう

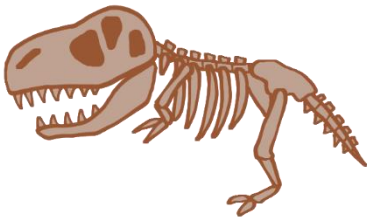


ステップ① しら ほうほう かんが 調べる方法を考える

としょかん しら いがい いろいろな しら かた
図書館で調べる以外にも、いろいろな調べ方があります。

じぶん し しら ほうほう
自分が知りたいことを調べるには、どんな方法があるのか、
かんが 考えてみましょう。

としょかん しら 図書館で調べる 	としょかん じてん ずかん しら ほん 図書館には「辞典」や「図鑑」など調べるための本が たくさんあります。 じぶん しら か ほん さが 自分が調べるテーマについて書いてある本を探して、 その本でわかったことやどうしてだろう?と思ったことを ノートなどに書いておきましょう。
インターネットで調べる 	せかいじゅう じょうほう とお ひと ばしょ ようす 世界中の情報がのっていたり、遠くの人や場所の様子 を見ることができます。 △ インターネットの じょうほう なか 情報の中には、 まちがっていたり、あやしい じょうほう 情報もあります。 おとな ひと しら <u>大人の人といっしょに調べましょう</u>
かんさつ 観察する	しゃしん と きろく 写真を撮ったり、ノートなどに記録すると、 いま き はっけん 今まで気づかなかったことを発見できます。

インタビューする ほか ひと ねが (他の人)にお願いをして はなし き 話を聞くこと)	ほん ひと 本ではわからなかったことなどを、くわしい人に聞いて みましょう。 ほん あたら じょうほう おし き 本より新しい情報を教えてもらえたり、聞くことで あたらし はっけん 新しい発見があるかもしれません。 ◎インタビューの方法 ・くわしい人に会いに行き話をする ・くわしい人にお手紙やメールを送る
はくぶつかん しりょうかん 博物館や資料館へ いく 	ほんもの ほんもの つく てんじ 本物や本物そっくりに作ったものなどが展示されて いたり、れきし せつめい 歴史などがわかりやすく説明されています。 ◎こんな場所でも調べられます ・どうぶつえん すいぞくかん しょくぶつえん 動物園・水族館、植物園 ・かがくかん 科学館
じっけん 実験する	ほん しら じぶん かんが じっけん 本で調べたことや自分が考えたことを実験してみる と、じぶん よそう たし 自分の予想があっているかどうか確かめることが できます。

いろいろな方法で確かめると、自分が知りたいことだけでなく、
あたらし はっけん
新しい発見もあるかもしれません。

また、としょかん ほん つか しら とき さつじょうあつ
図書館の本を使って調べる時は2冊以上集めて、
くら
比べてみましょう。

ステップ② しら きろく 調べて記録しよう

しら 調べてわかったことやどうやって調べたのかをノートに書いたり、
きろく 記録カードを作ってみましょう。

さいご じぶん しら 最後^{さいご}に自分^{じぶん}が調べたことをまとめるときに、とても役^{やく}にたちます。

◎ ノートや記録カードに書いておくこと

- ・ いつ調べたか（〇月〇日）※観察するときは時間・天気も書いておく
- ・ 調べたときに使った本のタイトルや書いた人の名前
- ・ わかったこと・気づいたこと
- ・ 調べに行った場所の名前

記録カードの作り方

調べたいこと	
わかったこと	しら ひ がつ にち 調べた日：〇月〇日
つか しりょう ほん 使った資料（本）	ほん なまえ 本の名前： か 書いてあったページ：

◎ こんな記録の方法もあります

- ・ イラストをかくて記録する ✍
- ・ 写真をとっておく 📷 （他の人や他の人の物をとる時は、
かならずその人に写真をとっていいかを聞きましょう。）

ステップ③ ^{さくひん}作品にまとめよう

【^{ほうほう}どんな方法でまとめる？】

○ノートやレポート^{ようし}用紙^{つか}を使う

^{ひょうし}表紙や^{もくじ}目次をつけて、^{ほん}本のようにまとめることができます。

ホッチキスやテープでとめたり、ポケットクリアファイルに^か書いた^{ようし}用紙^いを入れていってもかまいません。

○^{おお}大きな紙^{かみ}（もぞう紙^し・がよう紙^しなど）を使う^{つか}

1枚^{まい}で^{しら}調べたことをたくさん^か書くことができます。

ポスターや「〇〇^{しんぶん}新聞」などを^{つく}作ることができます。

⚠ B4 サイズまで^やか^ぎ八つ切りサイズで^{さくひん}作品^{つく}を作ってください。

（^{おお}大きさは^{ひと}おうちの人といっしょに^{かくにん}確認してください）

○パソコンやタブレット^{つか}を使って^{さくせい}作成する

^{もじ}文字のデザインを^か変えたり、^{しゃしん}写真などを好きな^す大きさに^{おお}することが
できます。

⚠ ^{もじ}文字の^{おお}大きさは11 ^{いじょう}ポイント以上で^{つく}作りましょう。

【書いていく順番】

最初 さいしょ	① 調べようと思ったきっかけ ② 調べる前に考えたこと（予想したこと） ③ 調べた方法
次 つぎ	④ 調べてわかったこと
終わり おわり	⑤ 予想とちがうところがありましたか？ ⑥ 調べた後の感想
完成 かんせい	⑦ 調べるときに使った本などを最後のページに書きましょう。 （「参考文献」といいます） ⑧ 表紙に書くタイトルを決める ⑨ 目次を作る（※本のように作品を作る人だけです） ⑩ 応募カードを作品にはる

【すてきな作品を作るには】

- ・みんながあなたの作品を読みたいと思うようなタイトルをつける。
- ・本やインターネットに書いている言葉をそのまま書かない。
必ず疑問に思ったこと、調べた方法、わかったことなどを
自分の言葉で書くこと。
- ・イラストをかいたり写真をはる
- ・地図やグラフを書いてみる
（文章で書くと長くなったり、わかりづらい時に使ってみましょう）
- ・自分が一番伝えたいところに線を引いたり、色を変えて強調させる。

【作品を作るときに注意すること】

●本の^{ほん}中の^{なか}文^{ぶん}章^{しょう}をそのまま書^かくときは「^{かぎかっこ}」(かぎかっこ)をつけましょう。

書^かいた人^{ひと}の文^{ぶん}章^{しょう}をそのまま写^{うつ}して、自^じ分^{ぶん}が考^{かん}え^がたよう^かに書^かいてはいけません。

●「^{かぎかっこ}」(かぎかっこ)をつけた文^{ぶん}章^{しょう}を書^かくときは、ど^{ほん}の本^{ほん}から書^かいたの^かがわ^わかるよう^{しゅってん}に「出^{しゅ}典^{てん}」を必^かず書^かきましょ^うう。

※出^{しゅ}典^{てん}とは…書^{しょ}名^{めい}、著^{ちよ}者^{しゃ}名^{めい}、出^{しゅ}版^{ぱん}社^{しゃ}(発^は行^{こう}したところ)、出^{しゅ}版^{ぱん}年^{ねん}、引^{いん}用^{よう}したペー^えジ^じな^のこ^こと^とです。

本^{ほん}の最^{さい}後^ごのペー^えジ^じにま^かとめ^てて書^かいてい^おく^づけ「奥^{おく}付^{つけ}」を^{さが}探^かして書^かきましょ^うう。

保護者の方へ



※ 調べるときに使った本など(参考文献)の書き方は、公益財団法人図書館振興財団のホームページ <https://concours.toshokan.or.jp/concours> の「参考・引用文献リストの書き方」を御覧ください。「参考・引用文献リスト用紙」をダウンロードすることができます。

「調べる学習の進め方(高学年)」作成時に参考にした資料

・『調べるって、おもしろい!マンガでわかる小学生の調べる学習ガイド』(岩崎書店)
公益財団法人図書館振興財団・監修、岩崎書店編集部・編著

※この資料は甲西図書館で所蔵しています(夏休み期間は館内閲覧のみ)